

特集
1

インフルエンザから身を守るために

毎年冬になると流行するインフルエンザ。高熱や関節の痛みなどの症状を伴い、人によっては重症化する恐れもあります。インフルエンザの感染を防ぐには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことが重要です。冬を元気に乗り切るために、今日からインフルエンザ対策を実践しましょう。

◇インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスが体内に入り込むことよって起こるウイルス性呼吸器感染症です。インフルエンザウイルスにはA型、B型、C型と二つの型があり、流行するウイルスはその年によって異なります。中でもA型とB型の感染力が非常に強く、日本では毎年約一千万人もの人が感染しています。感染しても軽症で済む人もいますが、肺炎や脳症などを併発し、重症化する場合があります。妊婦中の女性などは重症化する危険性が高いと言われています。

感を伴い発症するのが特徴です。咳や鼻水、喉の痛みなどの呼吸器症状や頭痛、関節痛も現れます。また吐き気、嘔吐、下痢などの消化器症状が現れることもあります。

◇なぜ感染してしまうの？

インフルエンザウイルスの感染経路は飛沫感染と接触感染の二つがあります。一般的に空気感染はしないと考えられています。飛沫感染とは、感染者が咳やくしゃみなどをした時に飛んだ唾液が細かなしぶきとなり、別の人がそれを吸い込むことで感染します。流行時期にはインフルエンザの症状が出ていない人でもウイルスに感染し、ウイルスを排出していることがあります。発症していなければ外見からはわかりませんが、知らないうちに感染を広げてしまう危険性があります。接触感染とは、インフルエンザウイルスに汚染された環境に触れることで手にウイルスが付着し、その手で無意識に目や鼻、口などに触ることで粘膜からウイルスが侵入して感染します。電車やバスのつり革、ドアノブなどから感染しやすいと言われています。インフルエンザを予防するためには、こうした飛沫感染、接触感染といった感染経路を絶つことが重要です。



◇しっかり手洗い

風邪と同じように、手洗いはインフルエンザ予防に非常に効果的です。感染予防の手洗いのタイミングは、「帰宅時」「食事の前」、感染を広げないという意味では「咳やくしゃみを手で押さえた後」「鼻をかんだ後」もポイントになります。また、すぐに手が洗えない場合、アルコール消毒（手指消毒）も効果的です。

「手洗いは習慣化してるから大丈夫」と安心していませんか？実は、多くの人が十分な手洗い・手指消毒をできていません。正しい方法で行なうと、手洗いは四十五秒以上、手指消毒でも十五秒以上かかります。一度、今までの手洗い・手指消毒を見直してみましょう。また、ぬるま湯でのうがいもセットで行ないましょう。



手洗い手順（石けん液） ©SARAYA CO., LTD.

SARAYA
<http://www.tearai.jp/>



手指消毒手順（アルコール消毒液） ©SARAYA CO., LTD.

SARAYA
<http://www.tearai.jp/>



提供：東京サラヤ(株)

◇正しいマスクの着用を

症状のある人がマスクをすることで、周囲に咳やくしゃみの飛沫を飛散することを防ぎます。また、感染していない人もマスクをすることで、飛沫を吸い込む機会や汚染された手で鼻や口を触る機会を減らすことができます。

マスクをしていても、鼻の部分に隙間があったり、あごの部分が出ていると効果がありません。鼻と口の両方を確実に覆い、正しい方法で着用しましょう。

使用後のマスクにはたくさんのウイルスがついています。外したマスクは放置せず、直接ゴミ箱に捨てましょう。

◇予防接種の効果は？

インフルエンザワクチンは、感染や発病を完全に阻止することはできませんが感染してしまつた場合に症状を軽くし、重症化を防ぐ効果があります。ワクチンの効果が現れるまでに通常約二週間ほどかかり、約五ヶ月間効果が持続するとされています。日本では、例年十二月下旬から三月上旬が流行のピークなので、十二月上旬までの予防接種が勧められています。流行するウイルスの型は変わりますので毎年、接種することが望まれます。

インフルエンザワクチンは、健康保険が適用されず原則的に全額自己負担となります。

ただし、定期接種の対象者については、市町村によって助成がある場合もあります。また、病院によっては、予防接種をすぐに受けられない場合もありますので、確認してから受診することをお勧めします。

〈定期接種の対象者〉

- ①六十五歳以上の方
- ②六十〜六十四歳で、心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活を極度に制限される方（概ね、身体障害者障害程度等級一級に相当します）
- ③六十〜六十四歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方（概ね、身体障害者障害程度等級一級に相当します）

（厚生労働省ホームページより転載）

◇ウイルスから身を守る

空気が乾燥すると、喉の粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って、五〇％〜六〇％程度の適切な湿度を保ちましょう。

インフルエンザが流行しているときには不要不急の外出を控え、人ごみなどを避けることも有効です。

インフルエンザは免疫力が弱つていると感染しやすくなります。普段から十分な睡眠と

バランスの良い食事を心がけ、免疫力を高めることが最も大切です。

◇インフルエンザかなと思ったら

急に三十八度以上の高熱が出て全身の倦怠感を伴うなど、インフルエンザが疑われる症状が出た場合は、医療機関を受診しましょう。

医療機関では、迅速検査を行ないインフルエンザの感染を確認します。発症から十二時間以内は、例えインフルエンザだとしても検査結果が陰性になる場合があります。しかし先生が症状を診てインフルエンザと判断したときは薬を処方してもらえますので早めの受診が大切です。最近では、飲み薬だけでなく、吸入や点滴など、治療方法も増えていますので、心配な点があれば相談してみましょう。



お話を伺った方

札幌厚生病院 感染管理認定看護師

高橋 朋子さん

特集 2

特大キャベツ

「札幌大球」

札幌伝統野菜の一つ、「札幌大球」。明治初期に北海道に導入された種を大正から昭和初期にかけて品種改良した大型のキャベツです。直径50cm、重さ10kgを超え、大きいものは20kg程度にまで育つことも。その重さは一般的なキャベツの十倍以上とも言われています。葉が大きく厚みがあるのが特徴で、主に漬物用として広く生産されていました。しかし近年では、漬物需要の減少や農作業の負担が大きいため、生産量は激減。北海道内の生産者を合わせても数個程度にまで落ち込み、消滅も危惧されていました。JAさっぽろでは、昨年から十数戸の生産者の方々にご協力いただき、札幌大球の栽培を復活。今年も引き続き栽培を行ない、二度目の収穫を迎えました。十月二十七日を皮切りに、十一月上旬までに札幌市内で約二千個の札幌大球を収穫しました。



▲札幌大球の生産者の一人、柳瀬徹さん。「見た目も良く、美味しいキャベツが出来ました」と収穫への喜びを語ってくれました。

札幌大球を収穫。作業には、JA職員も参加し、丸々と大きく育った札幌大球を一つひとつ手作業で収穫しました。今年は、六月の少雨の影響で予定の収穫量よりは少なかったものの、甘味があつて美味しいと仕上がりは上々。収穫された札幌大球は、飲食店にも出荷され、漬物以外の活用が広がること期待されています。

「札幌大球」は、今年一月に食の世界遺産といわれる、スローフード協会国際本部認定の「味の箱舟」に登録されました。札幌伝統野菜としては、二〇〇七年に登録された玉葱「札幌黄」に続く二例目となります。味の箱舟登録という大きな後押しを受け、今後生産者や行政との連携を取りながら取り組みを継続していきます。



札幌大球を札幌の顔に―― ～お好み焼きの「風月」で使用～

お好み焼きチェーンの「風月」（二神敏郎社長）では、11月2日から約2週間にわたり市内10店舗で、お好み焼きや焼きそば用のキャベツとして「札幌大球」を使用しました。当JAでは、今年収穫された札幌大球約1,000玉を納品。

伝統野菜の復活を知った二神社長は、この春から何度も生産者の圃場を巡り、成長を見守りながら自社のメニューに使用することを決めました。「札幌大球を使ったお好み焼きを最初に試食したとき、すぐ今までの味と違うのがわかりました。開店して48年になりますが、キャベツひとつでこんなに美味しくなるのかと感動したほど」と語ります。

札幌大球は、昔は漬物用として店先にも並んでいました。「私も、大球といえばニシン漬けのイメージでしたが、優しい甘みと歯ざわりの良さは格別。お好み焼きのおいしさが際立つことがわかりました。復活を遂げた今、その使い道は広いんだということをお客様にもっと知ってほしい。札幌の伝統野菜が、新たな食べ方を提案していくことで、「札幌の顔」として全国の人に伝わればと思います」（二神社長）。

外食産業の応援も札幌伝統野菜の普及へ後押しをしてくれています。



▲大きな札幌大球は、調理するのも一手間ですが、味は格別。



▲一人前のお好み焼きには130g、焼きそばには150gのキャベツの量がベスト。



▲店頭で札幌大球の実物を展示。食事券が当たる重量当てクイズを企画しました。お客様は、見てビックリ、食べておいしさにビックリで大好評でした。



▲昭和39年に大阪から札幌に来た二神社長。「お好み焼きは、人生そのものです」



この地を切り開いた

屯田兵のように

努力を重ね、生きてきた



先祖が切り開いたこの地で

明治二十二年、七つの県から集まった屯田兵により開拓された屯田地区。ここには今も屯田兵の子孫が多く暮らす。畑作農家の坂田文正さんもその中の一人。

「屯田開拓から百周年、百二十周年を記念してそれぞれ記念史を制作したんだよ」

自身も制作に携わったという記念史のページをめくりながら、生まれ育った屯田地区への想いを馳せる。

「古くから屯田で暮らしている人も新しく越してきた人も街づくりのために一致団結しているのが屯田の特徴だね」

力を合わせて原野を切り開いた屯田兵に習い、新たに移民してきた人たちを『その時代の屯田兵』として迎え入れる。現代社会では希薄になりつつある、地域の絆、人との繋がりが屯田地区には今もなお、しっかりと根付いている。

「戸建てやアパートが数多く立ち並び現在の様子からは想像もつかないが、この地域は、一昔前まで辺り一面に水田が広がっていた。」

「元々は畑をやるつもりで開拓したようだけど、石狩川の氾濫もあって水田になつたみたいだよ」

昭和四十五年からの減反政策により農業の中心は畑作へ。宅地化も進み、今では畑もだいぶ少なくなった。坂田さんの畑では、主に馬鈴薯を作付けする。

「ほとんどの作物は自家用だけどね。馬鈴薯は今も市場に卸しているんだ。」

『新』といえは、知る人ぞ知る馬鈴薯の



組合員紹介

ブランドだよ」

早掘りて知られる新琴似地区の馬鈴薯『新』。現在では、生産量も少なく地元で流通することはほとんどない。しかし『新』でなくてはならない」ととレストランなどからも人気が高く、求める人は後を絶たない。

「うちは、息子達は会社勤めだし、後継者がいないからね。今使っている機械が壊れるまでと思ってるよ」

自宅横のハウスや畑は、主に奥様の担当。色々な種や苗をもらっては育てているそうで、この日は、南国の果物、パッションフルーツが実をつけたと振舞ってくれた。

「珍しいでしょ？食べてごらん」

勤める坂田さんの横で「この人は勤めるばかりで食べたことがないのよ(笑)」と奥様にすかさず割って入られ、気恥ずかしそうな笑みを見せた。

農業一筋

子どもの頃から農作業を手伝うのが当たり前。高校時代には大人に混ざって市場にも足を運んでいた。

「早朝から父親と野菜を売りに行つてから学校へ行き、学校の後には、次の日の分を収穫して準備する。そんな生活だから、学校では一時間目から居眠りさ(笑)」

民生委員を務めるなど多忙だった父親に代わり、学生時代から農作業を任されるが多かった。高校を卒業後、すぐに農業を継ぐことになったが、長男だったこともあり、当然のことだと考えていたという。農協のそ菜部会にも入り、ほうれん草やキャベツ、大根など

あらゆる作物に挑戦した。

「こうすれば上手くいくって教わったことは一回もなかったから、試行錯誤しながらやったもんだよ」

色々と試す中で、なるべく人を使わずにできるものごとを考え、馬鈴薯を中心的な作物に据えた。

時代は流れ、農家の中にも外に働きに出る人、農業を辞める人が少なくなかったが、坂田さんは、農業一筋を貫いた。「雇ってくれるところがなかったのさ」と冗談交じりに語るが、農業を続けるための努力を欠かしたことはなかった。

「何もしないうちから農家じゃ食えないから辞めるっていうのは悔しい。何事も努力してみなければわからないのだから」

農業委員という重責

農業の担い手として第一線を歩んでいた四十代前半の頃だった。坂田さんは札幌市農業委員という重責を担うことになる。一期三年の任期を九期、実に二十七年の間、農業委員を務めた。また、その内の二期を副会長、その後三期を会長として農業委員会を率いていた。

「まさかこんなに長くやるとは自分でも思っていなかった。始めは、自分はそんな器じゃないし、やりたくなかったんだよ」

何度も委員推薦の依頼を断っていたが、話を耳にした父親からの後押しもあり受ける決意を固めた。「他になり手がなかったというのが正直なところ。農業の担い手も私達の上

は十歳くらい上の人がばかりだったから、色々な組織の役員が一気に下りてきた感じだね」

就任当時、札幌市農業委員の中で唯一の四十代で最年少だった坂田さん。上の年代に委員のなり手がいなかったことから、自らの世代が最後の皆のような印象を受けたという。その後、年下の委員が出てきたのは自身が就任してから七年目の頃。農業の後継ぎのみならず、組織役員の後継者不足を痛感した。「自分が上の立場になったときに相談する場所がなかったのは辛かった。でも誰かがまとめないとい組織は結束できないからね」

農業委員としての経験は、代々人が繋がり、支えあうことの大切さを再認識させた。

一番の楽しみ

農業委員を退いた現在も、屯田連合町内会の会長などあらゆる団体の役職を兼務し、忙しく奔走する毎日。そんな中で、一番の楽しみといえば、なんといってもお孫さんの成長。高校三年生の男の子と中学二年生の女の子。居間に飾られた、

たくさんのお孫さんの写真と眺める表情はとても穏やかだ。



▲屯田地区の百年史(左)、百二十年史(右)。屯田で暮らす人々の想いが詰まった宝物。



▲坂田さんの自宅で採れたパッションフルーツ。爽やかな酸味が口の中に広がる。

「上の子はずっとバスケットボールをやっている。試合も結構見に行ったよ。下の子はテニス。見られるのは恥ずかしいらしく試合には呼ばれないけどね(笑)」

夏休みと春休みには、高校生のお孫さんが友達を連れて坂田さんの家へ泊まりにやってくる。食べ盛りの男子高校生へのおもてなしは坂田家の一大行事。「大勢で来て夜は外でバーベキュー。朝ごはん、昼ごはんも食べて帰るんだけど、賑やかだよ」

自身は中学・高校を男子校で過ごした。その頃の仲間とは、今でも毎年クラス会を行なうほど仲が良い。

「学生時代の友達とは私も未だに付き合いがあるからね。孫にも友達は大にすることについて話しているんだ」

お孫さんへの想いを語りながら、この日一番の満面の笑顔を浮かべた。

お忙しいところ、取材にご協力下さいました坂田さん、ありがとうございました。(二〇二五十一月二十三日 取材)



11月12日(木)～13日(金)
JAさっぽろ青年部

宮崎部長が青年の主張大会に出場！ 後志・石狩地区JA青年部研修会

JAさっぽろ青年部(宮崎勝吉部長)では、札幌市内で行なわれた、後志・石狩地区合同JA青年部研修会に参加しました。研修会は二日間に渡って行なわれ、様々な企業や団体から講師を招いた講演会や、地区の垣根を越えて交流を深める懇親会などが行なわれました。そのなかで初日に行なわれた、石狩地区JA青年部青年の主張発表大会にJAさっぽろを代表して宮崎勝吉部長が出場しました。JA青年部全道大会出場をかけ、張り詰める空気の中での発表でしたが、堂々たる主張を繰り広げました。惜しくも全道大会出場とはなりませんでした。無事に大役を努めた宮崎部長は安堵した笑顔を浮かべていました。



▲青年の主張大会で「TPPと向き合う」をテーマに発表する宮崎部長。



▲「家の光」の記事活用体験発表に出場した横山静江支部長。



11月5日(木)～6日(金)
JAさっぽろ女性部

北札幌支部 横山支部長が 北海道家の光大会で堂々発表！

JAさっぽろ女性部(菅原利恵部長)では、札幌市内で2日間に渡って行なわれた、JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会に本部役員23名が参加しました。全道から550名もの女性部員が一堂に集い、講演会などを通してJA女性部の役割や互いの活動について理解を深める貴重な機会となりました。

「家の光」の記事活用体験発表では、書類審査を通過した3名が発表。JAさっぽろからは北札幌の横山静江支部長が出場しました。横山支部長は、語りかけるような温かい口調で、玉葱栽培の苦勞の歴史や玉葱農家としてのこだわりと誇りが伝わる発表を行ないました。残念ながら家の光全国大会に進むことはできませんでしたが、審査員からも好評をいただけていました。





11月2日(月)

JAさっぽろ青年部

講師を招いて講演会 マイナンバー制度の概要を学ぶ

JAさっぽろ青年部（宮崎勝吉部長）では、部員31名と職員11名が参加し、ジャスマックプラザホテルにて講演会を開催しました。

講演会は青年部員の知識や見聞を広げることを目的として、毎年様々な分野から講師を招き開催しています。今年度は税理士の西本裕登氏をお招きして「マイナンバー制度」をテーマに講演していただきました。マイナンバー制度は、平成28年1月から導入されますが、詳細を知る機会が少ないこともあり、部員は興味深く聞き入り、終盤では多くの質問が飛び交いました。

講演終了後には恒例となっている懇親会を開催し、支部の垣根を越えて互いに親睦を深め、有意義な時間となりました。



9月28日(月)

女性部新琴似支部

**自分達で作ったソーセージ
美味しくいただきました！**

女性部新琴似支部（菅原利恵支部長）では、部員12名が参加し第2回親睦会を開催しました。今回は、サッポロさとらんどにてソーセージ作りを体験。講師の方のアドバイスを聞きながら、美味しいソーセージを作ることが出来ました。昼食のお弁当を食べた後は、ロイズあいの里公園店へ。美しいローズガーデンの散策やアイスクリームを食べて、楽しいひと時を過ごしました。（山田特派員）



9月29日(火)

女性部手稲支部

天気を味方に付け、観光を楽しむ

女性部手稲支部（大能紀恵子支部長）では、13名の部員が参加し増毛・留萌方面へ日帰研修を実施しました。雨天の中での出発となりましたが、バスを降りる頃には不思議と雨は止み、ぶどう狩りとグライダー見学を満喫することが出来ました。昼食の海鮮料理や買い物も楽しみ、有意義な時間を過ごし無事帰路につきました。（橋本特派員）





10月14日(水)～15日(木)
女性部北札幌支部

工場見学で学ぶ お馴染みの調味料

女性部北札幌支部(横山静江支部長)では、JAまつりの慰労を兼ねた、一泊二日の観楓会を実施しました。千歳のキッコーマン工場と岩田醸造では、それぞれ醤油と味噌の歴史や地域ごとに異なる種類について学びました。洞爺湖サイロ展望台では、バター作りを体験。醤油、味噌、バターをお土産に紅葉の景色を見ながら帰路に着きました。(高橋特派員)



▲身近な調味料の歴史に興味津々

▶自分達が写った号外は記念品としていただきました。



10月16日(金)
女性部厚別支部

道新の一面に載っちゃった!? 見学記念に特別な号外

女性部厚別支部(小林裕子支部長)では、部員42名が参加し日帰り研修会を実施しました。くるるの杜では買物を楽しみ、北広島市の北海道新聞印刷本社工場では夕刊が出来上がっていく様子を見学しました。その後、車窓から美しい紅葉を眺めながら定山溪へと移動し、美味しいランチビュッフェをお腹いっぱいいただきました。気持ちの良い秋晴れに恵まれ、充実した一日になりました。(吉村特派員)



10月1日(木)
JA南友の会

浦臼の広大な施設を視察

JA南友の会では、浦臼町にある神内ファーム21への日帰り研修旅行を行ないました。浦臼本場は、総面積およそ600haの中に植物生産工場8.9万㎡、フィルムハウス32棟、牛舎10棟、センターハウス、ゲストルーム、塾生用住宅などを兼ね揃えた大規模施設です。今回は、IT技術を駆使した園芸ハウスを見学。常夏を思わせるハウス内では、糖度の高い高品質の「神内マンゴー」を栽培しており、6月から10月まで収穫時期が続きます。北海道の気象条件を利用し、じっくり丁寧に育てた北海道産のマンゴーに参加者は興味津々でした。また、広大な牧場では、肉牛の飼育を行なっています。脂肪が少なく、良質な赤身で力強い旨み特徴の「神内和牛あか」の牛舎も見学することができました。施設見学の後は、場所を砂川ハイウェイオアシスに移動し、「神内和牛あか」を使ったランチを堪能。三笠の温泉で日頃の疲れを癒して、帰路につきました。(萩原特派員)



▲巨大なハウスや牛舎は圧巻!



10月6日(火)～9日(金)
琴似・発寒クローバー会

全日程が晴天に恵まれ 北陸の雄大な自然と歴史的建造物に触れる

琴似・発寒クローバー会(琴似 石川秋夫会長・発寒 山根正雄会長)では、会員 25 名が参加し、北陸・白川郷方面を 3 泊 4 日でめぐる合同研修旅行を実施しました。初日は、東京駅から北陸新幹線に乗車し、富山へ。黒部でトロッコ列車からの壮大な渓谷を眺めました。2 日目は、七尾湾遊覧船に乗船し兼六園と金沢を見学。3 日目は東尋坊、永平寺を周り世界遺産に登録された白川郷合掌造り集落を訪れ、飛騨高山に宿泊しました。最終日は、高山祭りを散策し、名古屋城で締めくくりました。北陸の美味しい海産物やお酒も存分に楽しみ、終始和やかな雰囲気の旅となりました。最終日の前日には、北海道に台風が上陸していたため、帰りが心配されましたが、無事札幌に到着することができました。(高橋特派員)



10月6日(火)～9日(金)
新琴似支店、屯田支店

異国情緒と世界遺産をめぐる旅 福岡グルメも堪能

新琴似・屯田支店では、組合員 10 名が参加し、長崎軍艦島・ハウステンボスと福岡への親睦旅行を実施しました。大浦天主堂・グラバー園では異国文化の雰囲気に触れ、その夜は日本三大夜景の一つと称される長崎の夜景に魅了されました。世界遺産となった軍艦島では、廃墟を目の当たりにし、明治日本産業革命のロマンに思いを馳せました。福岡柳川では、風情のある川下りを楽しみ、名物うなぎのせいろ蒸しも堪能。中洲の夜も中洲まつりと相まって存分に満喫しました。好天にも恵まれ、少人数ながらも思い出に残る愉快的な旅行となりました。(杉田特派員)



10月20日(火)～22日(木)
北札幌支店年金友の会

秋の洞爺湖と積丹半島を楽しむ

北札幌支店年金友の会(山本博会長)では、会員 26 名が参加し、洞爺湖・岩内方面へ視察研修旅行を実施しました。出発時に降っていた雨も次第に止み、思う存分観光を楽しみました。キリンビアパーク千歳ではビール麦汁の違いやビール製品を堪能し、さけのふるさと館では、鮭が勢い良く水車からあがる様子を見学しました。翌日の午前中には、パークゴルフとバードコール製作を体験。午後からは、ニセコミルク工房で新鮮な牛乳を使ったスイーツを味わいました。宿泊先は、食事が評判の高島旅館。美味しい夕食に舌鼓を打ちながら楽しいひと時を過ごしました。最終日は積丹半島の景色を楽しみ、両手いっぱいのお土産とともに帰路に着きました。(永井特派員)





地域住民からも好評なコンビニへ

施主 厚別支店組合員



施設の概要

店舗(セイコーマート)

平成27年9月オープン

敷地面積:1209.99㎡

(隣接店舗と駐車場等共有)

構造規模:鉄骨造 平屋建て

建築面積:199.50㎡

集客を望めるコンビニエンスストアへ

この敷地は、元々飲食店舗および1階部分がコンビニエンスストアの住宅兼店舗として活用していました。飲食店舗の退去とコンビニエンスストアの老朽化もあったことから今後の活用についてJAに相談し、今回の店舗を建設するに至りました。

この辺りは、厚別通、札幌新道、水源地通がぶつかる地点になっており、交通量が非常に多い場所です。敷地面積も充分にあることから、隣接する店舗との相乗効果を期待し、コンビニエンスストアを核とした事業を考えました。

新築にあたり、店舗の向きを南向きから西向きに変更。以前は、コンビニがあるということが認識しにくい建物配置でした。また、現在のコンビニエンスストアにおける売場面積の増加という希望に沿った建物を建築したことは集客にも影響しているのではないかと感じています。今回の建設で、店舗正面が一番メインの通りに沿う形になり、通りを走る車内からも真新しいコンビニの店舗が目にとまりやすくなりました。今回の事業によって、見かけたときに気軽に入れるコンビニに生まれ変わったと感じています。

今回の事業の満足度

今回の事業では、JAの施主代行方式を利用しました。JAに設計・施工を一括して委託することができ、施主の立場に立って施設建設を代行してくれるシステムは、とても心強い仕組みだと思います。諸手続きもJAが代行してくれるので、わずらわしさがありませんでした。

建替して感じたのは、20年前の建物と現在の建物では設備に違いがあり、来店するお客様が利用しやすい造りになっていることから、集客にも大きく影響するということです。今回の事業は、地域住民の方にも喜んでいただき、お客さんの入りも良いと聞いています。JAに解体工事相談、テナントとの折衝を行なっていただけたのでとても満足しています。今後の資産活用については、JAの担当者に相談しながら検討していきたいと思えます。

JAさっぽろでは資産管理事業を通じて、組合員の皆さまのお役に立てるよう様々な提案・相談・サポートを行っております。資産活用のご相談は各支店、不動産プラザ店にお任せください。

平成27年度 年末年始業務体制のご案内



	12/30 (水)	12/31 (木)	1/1 (金)	1/2 (土)	1/3 (日)	1/4 (月)	1/5 (火)	1/6 (水)
本店 (ローンプラザ除く) 経済センター	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業
金融共済窓口	通常営業	休業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	通常営業
ローンプラザ	定休日	休業	休業	休業	休業	休業	休業	定休日
厚別相談課	通常営業	休業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	通常営業
ATM	稼働	休業	休業	休業	休業	稼働	稼働	稼働
厚生病院 ATM	休業	休業	休業	休業	休業	稼働	稼働	稼働

理事会だより

◆第七回定例理事会

平成二十七年十月二十九日(木) 午後二時より本店役員会議室において第七回定例理事会が開催された。

●委員会等報告事項

- 一、金融・共済委員会
- 二、経済・相談委員会
- 三、総務・企画委員会

●仮決算報告

- 一、平成二十七年度上半期仮決算実績報告
- 二、平成二十七年度上半期行動計画の総括

●協議事項

- 一、地区別懇談会資料について
平成二十七年十月十六日から開催する地区別懇談会用資料の内容について説明され、可決決定。
- 二、第十八回通常総代会の開催日時等について

第十八回通常総代会を平成二十八年六月三十日(木) 共済ビル六階共済ホール(札幌市中央区北四条西二丁目)で開催する事が説明され、可決決定。

三、『反社会的勢力等への対応に関する規程』の一部改正について
反社会的勢力・反社会的勢力等の定義を明確に表現する事、並びに対応状況報告の時期変更等にかかる改正であることが説明され、可決決定。

四、『専門部会運営規程』の部改正について
「米麦部会」および「とれたて」研究会」の解散に伴う所要の改正であることが説明され、可決決定。

五、農地流動化奨励金の廃止について
農地の利用促進に関して平成二十六年より施行された農地中間管理事業など、政策並びに制度の見直しを背景とした廃止である事が説明され、可決決定。

六、平成二十七年度大口奨励金(肥料・農薬)の実施について
平成二十七年度における奨励施策の一つとして、予約購買(春肥料および秋肥料並びに農薬)の購入額に応じた奨励内容である事が説明され、可決決定。

七、平成二十八年年度大口奨励金(肥料・農薬)の実施について
平成二十八年年度に奨励施策の環として実施する、予約購買(春肥料および秋肥料並びに農薬)の購入額に応じた奨励内容、並びに春および秋肥料の取りまとめ分に限定した店頭引取に対する奨励内容が説明され、両議案とも可決決定。

(経済・相談委員会協議案件)

(経済・相談委員会協議案件)

(経済・相談委員会協議案件)

(経済・相談委員会協議案件)

● 報告事項

- 一、内部監査結果報告
- 二、平成二十七年上期苦情・事故等の発生状況について
- 三、コンプライアンス事故の発生状況について
- 四、平成二十七年コンプライアンス・プログラムの取組み状況について（上期）
- 五、反社会的勢力排除対応管理先状況報告
- 六、JAさっぽろ女性大学「シカレッジ」第三期企画（案）について
- 七、平成二十七年上半期余裕金運用実績報告
- 八、平成二十七年第三四半期余裕金等運用計画額および運用方針について
- 九、総合的なリスク量の報告について
- 十、リスクの量的管理報告
- 十一、平成二十七年九月末貸出金に係る信用集中リスク報告
- 十二、平成二十七年上半期の子会社等に対する信用供与等額の実績報告
- 十三、平成二十七年JA共済コンプライアンス点検結果報告
- 十四、九月末組合員加入・脱退状況
- 十五、十月の動静と十月の予定について
- 十六、札幌協同振興株の平成二十七年上半期実績報告

（閉会・午後五時六分）

人事異動

◆ 能登山 かおり（十月一日付）

〔前職〕融資審査部融資審査課融資審査係
〔異動職〕総務部付 札幌協同振興株式会社
社出向

JAさっぽろDATA

（平成27年10月末業務実績） （平成27年9月末業務実績）

組合員数	正組合員 3,998名 准組合員 26,602名 合計 30,600名	正組合員 3,995名 准組合員 26,436名 合計 30,431名
出資金残高	49億5千5百万円	49億4千万円
販売取扱高	14億4千2百万円	11億6千4百万円
購買供給高	7億5千7百万円	6億7千3百万円
貯金残高	2,741億2千8百万円	2,766億9千3百万円
融資残高	892億7千2百万円	889億7千2百万円
共済保有高	6,010億7千9百万円	6,014億7千3百万円
施設建設取扱高	7億7千5百万円	3億9千2百万円
管理受託戸数	4,070戸	4,062戸

※ 出資金残高については、処分未済持分を控除した額です。

おくやみ

下記の正組合員の方々が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。（10月16日～11月15日）

支店名	氏名	享年	月日
厚別	佐藤 富蔵	97才	10 / 25
篠路	鷲尾 和雄	86才	11 / 2

部下の成長をCS向上に繋げる
統括支店長らがコーチング研修

10月26日（月）、管理職のコミュニケーション能力の強化とコーチング（面談）技術の向上などを目的にコーチング研修会を行いました。（株）クラーク総研から講師をお招きし、各支店の統括支店長、支店長ら18名が参加しました。

昨年7月に導入されたCS（組合員・利用者満足度）改善プログラムでも管理職による部下へのコーチングは主な活動の一つ。質問・対話を通じて部下のモチベーションをあげ、CS向上への取り組みをバックアップするため、2ヶ月に1度のペースで個人面談を行なっています。今回の研修では、コーチングにおいて部下の本音を引き出すのが難しいといった声があがっていることから、コーチングのロールプレイや部下育成に関する課題と具体的改善策についてグループ討議が行なわれました。統括支店長らは、他支店管理職との情報交換などにより、コーチングの不安要因の解消を図りました。管理職を対象としたコーチング研修は来年1月にも行なわれる予定です。管理職がコーチングにより支店職員を支え、CS活動のさらなる活性化を目指します。



▲部下を想定しコーチングのロールプレイを実施。ビデオ撮影を行ない、自らの強みと弱みの把握に役立てました。

篠路支店で特殊詐欺被害防止 竹永課長、山崎職員が北警察署より感謝状授与



10月30日(金)、特殊詐欺被害を防止したとして、篠路支店の竹永金融共済課長と山崎職員が札幌方面北警察署から表彰を受けました。

8月中旬、お客様のもとに「キャッシングカードと携帯電話を持ってATMにいったほしい」という還付金詐欺の手口と思われる連絡が入りました。ATMに到着したお客様は、携帯電話を自宅に忘れたことに気付き、篠路支店に相談。窓口で対応した竹永課長が話の内容から詐欺の疑いを持ち、警察へ連絡しました。その後、携帯電話へ詐欺グループから再び連絡が入っている可能性を考慮し、山崎職員が自宅まで付き添い警戒にあたりました。詐欺グループから再度連絡が来ることはなかったものの、詐欺被害を未然に防ぐことができました。

篠路支店の渡部統括支店長は「金融機関としての務めを果たすことができ、安堵している。これからも職員一丸となって信頼される支店を目指して参ります」と話していました。

特殊詐欺による被害は後を絶ちません。当JAでは、ご出金・お振込みの際にお声がけをさせていただき、特殊詐欺被害の防止に努めて参ります。ご心配な点、ご不明な点は、いつでもお近くの支店までご相談ください。



▲篠路支店、渡部統括支店長(中)と表彰を受けた竹永金融共済課長(左)、山崎職員(右)。



交通ルールを守ろうね! 「JA共済 親と子の交通安全ミュージカル」

11月12日(木)、共済ホールにてJA共済 親と子の交通安全ミュージカル「魔法園児マモルワタル」を開催しました。

次世代を担う子どもたちに、楽しみながら交通ルールを学んでもらうことがこのイベントの目的。市内の幼稚園・保育園の園児約300人を招待しました。警察官や園児に扮した劇団員が音楽に合わせて歌って踊り、交通ルールをわかりやすく解説するミュージカルに園児は目を輝かせて見入っていました。車の危険性や、信号機や標識の意味を教わった後には、園児らが舞台上上がり、劇団員と一緒に横断歩道の正しい渡り方を体験。舞台上と客席の園児たちが一つになってみんなで一緒に交通ルールを学びました。



▲登壇する園児を職員がサポート。



▲ミュージカル終了後、大満足の園児とハイタッチでお別れしました。

今年も、たくさんのご声援をありがとうございました!

JAさっぽろ野球部—平成27年度結果報告—

今年度の活動を終え、皆様に結果報告をさせていただきます。

今シーズンも多くの皆さまから温かいご声援をいただきましたこと、部員を代表してお礼申し上げます。当野球部は、「JA大会全道優勝」を目標に1月下旬より室内練習場で練習を開始し、4月上旬より土日祝祭日と当JAグラウンドで日々練習に取り組みました。JA大会石狩管内予選でJA北いしかりに惜しくも敗れ、目標を達成することができませんでした。今シーズンも各大会におきまして、多数のご声援をいただき、選手たちは皆様の声を力に変え精一杯頑張りました。

来シーズンは、斉藤監督、水口主将の新体制で必ず、「JA大会全道優勝」を果たしてくれると信じております。今後とも皆様の応援よろしくお願い申し上げます。

JAさっぽろ野球部 監督 高橋 健太



大会名	試合結果
A級選手権(リーグ戦)	△ 4-4 / 北海道ガス ○ 8-1 / 札幌市役所
国体札幌予選	× 【1回戦】2-3 / 札幌市役所(延長促進)
天皇杯札幌予選	× 【1回戦】0-1 / 北海道赤十字血液センター
JA石狩管内野球大会	× 【1回戦】0-5 / JA北いしかり
北海道知事杯札幌予選	× 【1回戦】5-8 / Ep 札幌
練習試合	○ 2-0 / トヨタ自動車北海道 △ 0-0 / 日高町役場 ○ 6-1 / JA北いしかり △ 3-3 / 三愛病院 ○ 2-0 / 知内野球協会 ○ 4-1 / JB 日本血液製剤機構 △ 2-2 / 余市口ータスクラブ × 0-2 / 北海道サンアグロ ○ 17-2 / 札幌信用金庫 ○ 8-6 / 苫小牧埠頭 × 0-5 / JA北いしかり × 0-2 / 三愛病院
通算	7勝7敗3分

個人打撃成績

	打席	打率	本塁打	盗塁
伊藤 豊	46	0.166	0	2
斉藤 竜太	49	0.023	0	3
高橋 健太	15	0.285	0	0
水口 雅孝	65	0.166	0	1
坂上 智幸	11	0.100	0	0
吉村 賢人	55	0.134	0	0
藤澤和佳哉	62	0.229	0	3
森清 幸輔	49	0.219	0	3
小本 真也	11	0.090	0	0
橋本 直人	18	0.277	0	0
荒井 政直	19	0.125	0	0
佐々木崇宏	34	0.133	0	1
菅原 直人	74	0.250	0	11
佐々木大二郎	23	0.238	0	0
高橋 健	4	0.000	0	0
池田 祐太	55	0.148	1	10
北林 貴行	7	0.000	0	0
チーム成績	597	0.170	1	34

投手成績

練習試合・公式戦通算	勝利	敗戦	セーブ	防御率
佐々木崇宏	1	6	1	2.03
池田 祐太	2	1	0	3.42
小本 真也	2	0	1	2.16
高橋 健太	2	0	0	0.60
水口 雅孝	0	0	0	0.00
高橋 健	0	0	0	3.38



さとらんど さとらんどセンターにて、様々な講座を実施中!

さとのクリスマス



日時:12月20日(日)
午前10時~午後4時
会場:さとらんどセンター

さとらんどキャラクター「ぐんぐん」とのステージイベントやクリスマス講座を行ないます

羊毛フェルト講座

羊毛でクリスマス小物作り

日時:12月20日(日)
午後1時半~午後2時半
定員:5才以上の子とその親15組
費用:800円



12月11日(金)~受付開始

この他にも様々な講座をご用意しております。申込みは、さとらんどセンターまでTELまたは直接受付ください。

【お問い合わせ】サッポロさとらんど 〒007-0880 札幌市東区丘珠町584番地2 TEL(011)787-0223

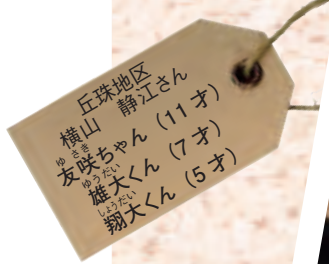
2015

虹の大樹 No.210

虹の大樹 ● 12月号
平成27年12月10日 ● DECEMBER 2015
編集・発行 / 札幌市農業協同組合
〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目1番10号 TEL011-621-1311
ホームページ http://www.ja-sapporo.or.jp/ Eメール kouhou@ja-sapporo.or.jp



あなたの自慢 教えてください



自転車^{ゆさき}で出かけるのが好きな友咲、
一輪車^{ゆうだい}に熱中している雄大、
おばあちゃんと遊ぶのが大好きな翔大^{しょうだい}。
我が家のかわいい三人の孫です。
畑作業も積極的に手伝ってくれています。
トラクターと一緒に乗り込み、
エンジンをかけると大喜び！
大好物は三人揃って、もちろん玉葱です。
畑仕事を手伝っているので体が丈夫。
元気いっぱいにご過ごしています。

◆みなさまの自慢を教えてください◆

小さいお子さんやお孫さん、新婚さん、ペット、
料理、新たに家業を継いだ方、家宝など、
自慢のものを大募集！
お近くの各支店または本店 広報課まで、
お気軽にお声かけ下さい。

タイトルは、きゅうりやトマトなどに
一般的に殺菌剤で使われている
「ジマンダイセン」をアレンジしたものです。